

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	0人	4人	4人	8人

前回の改善計画

「・アセスメントシートの追加記入や見直しができるようになる。」

いつ：夜勤時 誰が：夜勤者

何を：家族・これまでの暮らしについて

どこで：リビング

どのように：日中関わって、家族や本人から情報を集める。それを基に、記録する。

前回の改善計画に対する取組み結果

最初のうちは行っていた。後から、記入内容が少なくなり、しなくなった。

夜勤時にするという意識がなかった。

夜勤時は他の事を優先して、シートに取り掛かれなかった。

2階にファイルを取りに行くのを忘れて、思い出したときには人がいなくなり、取りに行けないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	1	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	6	2	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	0	2	8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

子供の頃の事や仕事の事などについて、積極的に聞いている。

1日の流れの中での支援を把握している。

その人の表情や状態の観察に注意している。

思っていること、考えていることに対してゆっくり話を聴く、返す時もゆっくりしている。慌てない。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

得た情報を、記録にしていない。

電話での会話だけで判断してしまっている。実際は本人の思いと違った。

みんなで埋めたアセスメントシート。活用していない。情報の分析をしていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

アセスメントシートを見る機会がない。ミーティング時にはアセスメントシートと記録を見て行う。

アセスメントシートを記入が出来ていない。それをどうするか?→ファイルを取ってくる時間を決めて行う。

一人のファイルを期間を決めて記入する。書ける人と書けない人があるので書ける人から記入する。

自分の知っている情報から記入する。書けない人はミーティングを利用する。関りが無いから書けない。

期間を決めていれば意識する。各自が自分の得意な方法で「書く」ことをする。

夜勤時、自分がこの人を書くことと決めファイルを持ちこむ。全体で2週間記入する人を決め行う。サンプルイさんに機能評価をしてもらい、マップに書くこともアセスメントとして取り入れる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月19日 (19:55~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	4人	8人

前回の改善計画

「本人の目標をアセスメントで確認できて、理解 (共有) することができる。」
 いつ: 出勤時 誰が: 出勤者 何を: アセスメント・プラン (目標やそれに向けた計画)
 どこで: 2階の事務所
 どのように:
 ・ケア記録のご利用者のトップページにプラン①②を掲示して確認できるようにする。(常に近いところにシートがあり、確認することができ、記録もそれに基づいて行いやすい)
 ・その日のターゲットは朝礼時に共有して、まず、その目標は一週間継続する。そのモニタリングはミーティング (週1回) で行う。
 ほかに意見
 ・その日の目標を設定して、それを申し送りノートに記録して、確認できるようにする。
 ・自分のメモ帳に目標を書いて残して、持っておく。
 ・大きな目標と、1日の目標から、具体的な行動計画へ

前回の改善計画に対する取組み結果

日が経つにつれできなくなかった。
 自分としてどういう風にお誘いするか自信がない。新しいことが掴めないと思っていた。共有することが出来ていない。みんなで読み合わせる。
 全く取り掛かっていない。
 ターゲット、共有、朝礼時など出来ていないことだらけ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	4	1	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	2	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	4	1	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	4	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人のできる事、重要性を発言し、次に生かせるようにすることが出来た。
 日々かかわったことを積極的に発言する。
 プランの確認ができている。見落としが以前に比べてなくなった。
 申し送り、ミーティングがあった時は自分なりに把握する。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

～したいことについて、理解していなかった。
 アセスメントシート、プランを把握していない、知っていても行動に移せなかった。
 前回の改善計画が実行できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

～したい、本人のゴールを知るためにどうするのか? →話をする、聴く。聴いても答えられない状況がある。建前と本音がある。先ず少しでも関係を築く。挙げられているゴールがある。それを知ることからはじめる。
先ずはプランのゴールを把握することが必要。そして個別の話をを行う。それからミーティングに挙げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月19日 (19:55~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	0人	8人

前回の改善計画	「その人の以前の暮らしぶりを確実に理解することができる」 いつ：勤務中（・ゆっくりした時間・一对一（お風呂など）） 誰が：勤務者 何を：以前の暮らし（性格・今の希望・目標・希望・やってきたこと・自慢・誇り・輝いていた時期・くるしいことを乗り越えたこと等） どこで：一对一の場面など、ゆっくりと2人でいられる場面で どのように： ・時代背景とその人の話をつなげる（パーツとパーツが組み合わせられる） ・誰かが聞いたことを起点にして話を深めたり、広げたりする。 ・それらをケア記録や、アセスメントに記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果	話をその時に聞いても記録にしていない。 風呂場での話を記録にしている。 1対1の状況で話せるが、記録に残せた人、残せなかった人がいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	4	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	1	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	5	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 空いた時間は話すようにしている。お風呂、送迎の車で話している。 状況を申し送り、記録で把握するようにしている。 泊りの時は水分などは把握している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしの10個以上、全員分の把握は出来ていない。 変化の多い人は情報の共有できるが、変化の少ない方は把握できていない。 現在の話はするが、以前の話は出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 以前の暮らしをどうやって知るか? → 家族や地域の方に話を聞く。分かっている情報があるなかで、本人に再確認して返って来た情報が大事と思う。ふとした時に話すことが大事なのかなと思う。自分からいきいきと話すことが大事。久松さんの看護師の頃の話をしたことがあるのか? 誘い水として活用することはある。返って来ない時は時間を置く。本人が話したくなる何かがある。自分たちが楽しい、聴きたいと思うことが伝わった時に本人が話してくれる
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年12月7日 (19:30 ~ 21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 市原・原野・有菌・小山・工藤・鶴田・大橋・丸山・村元・鳥原・繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	5人	5人	11人

前回の改善計画	・ご利用者さまの地域での暮らしを考えると、その人にとって大切な人を知る必要がある。日中の勤務者でよいどこいに行きつらる時にご利用者さまから話を聞き出し、ご利用者さまのご自宅にお友達を呼ぶことや、機関紙を毎月配ることから始める。
前回の改善計画に対する取組み結果	たまに自宅に行っていた。 ご利用者と話をする中で、話を聞くことだけになっている。 以前は出かけていたが、最近はほとんど出来ていない。一緒に来るからとは言うけど行けていない。ご本人の状態が悪くて避けていた。元気になったこの頃は行かなくてなあと思う。 機関紙はお任せになって、自分から配る声掛けをしていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	7	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	4	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	4	3	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	2	7	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 生活スタイルや人間関係を壊さないように心がけている。 送迎の際やご近所の人とお会いした時は話をするように心がけている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人が今、どんな方と関係があるかを知ろうとしていない。よいどこいにいるご利用者しか見ていない。 地域の方との話だけ情報を得ただけで済ませてしまっている。そこから広がらない。 地域の資源を知らない。よいどこいではないところを知らない。よいどこいでをどうしようか、から先に行かない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 機関紙をみんなができるように、当番制とかの導入を検討する。機関紙を自分たちが見ていない。お任せになっている。できた時にはみんなで意見を出し合う。内容について地域の方とも話せる。配る相手、先も話せる。毎月 の 全体会議でその月の機関紙をみんなで見て意見を出し合い、配布先と来月の記事の担当まで決める。 マップを作るのが一番とは思う。地域の人からよいどこいを知ってもらえるマップ。 ご利用者と話をしてのその言葉が大事だと思う。ご利用者と話をして、その時そこに行くことで、地域の方と話せる。得意不得意があるのでスタッフ全員で取り掛かる。そこで繋がりが出来た時に機関紙を持って行ける。 ゆくゆくは月に1回の機関紙配布で繋がりは保たれる。行きたいときに動かないと行けなくなる(忘れたり) 周りが「行ってきて」と送り出せるようにする!
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (19:30 ~ 21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 市原・原野・有菌・小山・工藤・鶴田・大橋・丸山・村元・繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画
 ・ご利用者と関わっている時間にスタッフ各々が話をして‘～したい’ことを聞いて記録する。そしてミーティングで議題にして実現を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・聞けているけど実行していない。
 ・ミーティングは行っている。家族のニーズに対しては柔軟に出来ている。ケアの具体的なことに対応している。
 ・ご利用者と話し、実行している最中。
 ・ご利用者と話をする時、～したいことを聞いていない。ミーティングの議題になっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	3	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	7	2	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	9	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ニーズに対応している。ミーティングを活用して自分の得た情報、気づいた事を伝えている。その情報をもとにみんなで考え実行できている。ご利用者の体調に合わせて活動できている。無理強いはない。一緒に楽しむ。本人、家族と話をして必要なことを提案、提供している。緊急避難をしっかり支援出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・朝食後の時間など楽しむことを提供が出来ていない。地域の資源を使いきれていないと思う。資源を知らない。人を知らない。よいどこいを中心とした資源と本人を中心とした資源。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・‘多機能’って何だろう?ご利用者が地域で暮らしていくために家族の思いとか、地域の人の思いを考え、本人の思いを組む。
 ・話をして計画を立てている。ご利用者と話をする中で、得た情報で行動に移せたら良い。他の人が見れるように、記録に必ず残す。
 ・地域の資源が分からない。関りが無い。→運営推進会議に参加しどんな人がいるのかを知る。
 ・送迎時ご利用者と行動することで公民館など知る。→スタッフに相談して行く。ご利用者と話す!

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年12月 21日(19:30 ~ 21:00)

6. 連携・協働

メンバー 市原・原野・有菌・小山・工藤・鶴田・大橋・丸山・村元・繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	7人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からスタッフみんなで、申し送りを見て参加できることには、参加する。 ・機関紙配りなど地域の人と顔を合わせる機会をみんなで順番に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りを見やすく工夫している。機関紙配りに参加した。申し送りは必ず確認している。 ・機関紙配りは任せていたが、参加してみたくなくなった。申し送りはあまり見ていない。機関紙配りが出来ていたら地域も分かるし、その事で話ができる。直接言葉がけが出来たらなと思っている。機関紙配りは頼まれたらしたいと思っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	0	3	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	7	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	4	2	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	6	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓踊り、地域の行事に参加できている。公民館の掃除に参加した。現場の協力を貰い会議に参加できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括の会議などには参加できていない。地域のグランドゴルフに積極的に参加していない。そもそも会議に参加していない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・会議、行事は、先ずは申し送りに記載し、情報を共有する。 ・回覧板で地域の行事を把握した人は申し送りに記載する。 ・機関紙配りはみんなで順番に行く。1か月分の機関紙配りを2~3回に分けて配る。順番は勤務表の上から順番に配る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年11月1日(19:30~21:00)

7. 運営

メンバー 市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、清水、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・相談表・運営推進会議録・行事に関する企画書や会議録を自分から見る。 ・ミーティングの議題を自分から提案する機会を増やすために、毎週日曜日までにはみんなで話し合いたい事を書けるように申し送りに‘欄’を新設する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・その時その時で会議録を自分で見ることは違っている。ミーティングは口頭で、申し送りの活用は出来ていない。 ・記録はみていないし、内容が入ってこない。 ・ミーティングは議題を出すことから出来ていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	4	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	4	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	4	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からの意見などは申し送りに書いて他のスタッフに伝えるようにしている。 ・夕涼み会に企画から地域の方と行え、成功することが出来た。 ・ゴミ拾いが出来ている。ミーティングは口頭で出来ている。行事の担当者が変われば確認している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からの話を直接聞くことが無い。 ・地域の方との取り組みについては他のスタッフに頼って自分からは積極的ではなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・向花小学校を回ってゴミ拾いを行い会った人にしっかり挨拶を行う。 ・畑に利用者さんをお連れすると、地域の方が話しかけてくれるので少しずつ、一人ずつ畑に行く。話ができる関係を積極的に行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年11月1日(19:30~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、清水、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	0人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より、申し送りにある外部研修やイベントなどを確認して、自分の興味のあるものからで良いので、自分から参加したいと申し込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職場外の研修には参加していない。 ・自分からの参加は無い。イベントなどもなかなか外部に出てまではない。事業所内のみ。指示されたものはやっている。意欲的というのは欠けているかな。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	6	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	2	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	3	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・LSWの研修に参加している。 ・介護福祉士の為の実務者研修 ・自身のスキルアップの為に実践者研修 ・研修は申し送りに挟んでいるのは、見る。言われて自分で行くべきかと判断して行くことを決めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修やイベントに参加出来ていない。どういふところに興味があるのか、どういふことが必要なのか分かっていない。 ・地域連絡会の中身も分からない。任せている。興味も中身が分からないので沸かない。 ・自分で探して検索してまでの熱意が無い。 ・気力がない。行かなくてもいいや、となる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が言った研修や勉強を5分間プレゼンする。(魅力、賃金に反映されるなど)聴いている人は興味を沸く。 ・年に1回は研修、イベントに行くように義務付けるとできるかな・・・。後押しがいる。 ・1回はどれに行こうかと、探すことになる。 ・受けた研修の発表は負担にならないように行う。 ・行ったら良い研修である。が自分からは行かない。 ・年に1回は行きたい研修・イベントを自分で探し、参加を市原に申し出る。復命書を提出し、内容を発表する。(全体会議、職員研修を利用する) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 11月 1日 (19:30~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、清水、大橋、丸山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	
・どんな場合でも、私たちスタッフはご利用者さまの生活の場面でその本人の意思決定を待ち、その時々 の自分の判断を記録し、ミーティングや申し送り、朝礼、全体会議などで話し合いみんなで常に考え合っ ていく姿勢を保つ。(トイレのノックをして返事を待つ、ご利用者によっては耳が遠いため、返事がなくて も中にいらっしゃることがある為、戸を開けるときはゆっくり行い、気づかれないように戸を閉めるなど)	
前回の改善計画に対する取組み結果	・トイレをノックすることは時々鍵のかかかっていないトイレをノ ックしないで開けることがある。 ・常に皆で話をするとはなかった。個人では出来ていた。 ・ノックしていないので利用者さんが入っている時に開けてしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1			9
②	虐待は行われていない	8	1			9
③	プライバシーが守られている	1	8			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している					9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	9	0		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・トイレは必ずノックしている。ご利用者と一緒に考え行動している。ミーティングでご利用者の言葉や 行動を元にみんなで支援している。 ・守れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・言葉が相手に与える感情として良くないと自分で思える時がある。 ・ご利用者がしたい行動を「ちょっと待ってください」と止めている時がある。 ・記録中に誰か歩かれてついて行くなど席を立つときに記録を開いたままにしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ノックが聞こえない人がいるのは確かである。自分が慌てている時に慌ただしく開けている。ノックし て「入ります」など言葉を言ってから入る。自分が落ち着いて行動することが大事である。「待ってくだ さい」という言葉ががすべて悪いわけではない。その後のフォローがあるかどうか、フォローする意識が あるかが大事である。記録に関しては立ったら閉じるということを先ず意識することから始める。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	2	0	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3	0	2

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】</p> <p>※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に検討している。具体的に評価をしている。 ・地域と可能な限り接触をしようとしている。 ・プライバシーでトイレのみが検討されているのは不思議。
<p>【前回の改善計画に対して意見】</p> <p>※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】</p> <p>※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的だと思う。
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの保護への取り組みを基本的なことから行っていく事で、日常の感覚を介護現場でも持ち続ける。(トイレ、脱衣場などへの入室の際はロックして、確認をする等)

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	0	4
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・朝早くから、玄関が開いていて「暗いのに、寒いのに」って思う。
- ・事業所の外を歩く時に会話が聞こえる。

【前回の改善計画】

- ・事業所の考え方があって、されていることは良いと思う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・たまには中でお茶をしたいと思うけど、ご利用者とどうなるかなって、思ったりしてあがりきれない。外に散歩などで出ている時や外でお茶をしている時は話ができる。
- ・畑の作業中にお茶を持ってきてくれたり、貰いに行ったりしている。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているのので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の方がどこまで知っているのか、浸透はしていないと思う。
- ・知ってはいると思う。ただ「自分はまだ」と思っている。
- ・行事に参加し続けていることで関係は密になっていると思う。
- ・歌のボランティアをしようと考えているが、自分自身が忙しくて動けない。
- ・地域の人への訪問時にこんな所があるとは話している。

【前回の改善計画】

- ・交流スペースの存在が伝わってきている。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の方が「何かあった時」と思ってもらえるために、一緒に防災に取り組んでいきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など)

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	0	0	7
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	0	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報のことがあるので、情報を流せられない。
<p>【前回の改善計画】</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中では自治会長が地域の要援護者を知っている。また、1年の任期が終わるころには分かる。 ・昼間は若者がいないので、助け合いが難しいので、病院や施設に助けってもらうことになる。夜間は反対に住民が助けることになる。 ・包括でマップ作りを提案できないのだろうか。マップに関して本腰を入れるのは来年度！マップが無いと不安である。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もご利用者と地域の行事に参加させていただく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・すべてに関わることは難しいので、会議での報告があり知ることが出来るのは有難い。

【前回の改善計画】

- ・会議の開催が有難い。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・メンバーが拡がれば意見がもらえるのではないかな。

【改善計画】※後日記入

- ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取組みが分かるようにする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	0	6	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	6	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	6	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	0

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 設問‘2’は地域が行っていないので、参加していない。 ・周りの方に助けを貰う方向で考えたらどうか。</p>
<p>【前回の改善計画】 ・まだ、地域で取り掛かれない。人の助けは絶対必要なので、協力を貰いたい。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】 ・地域と隣近所と一緒に防災訓練を行うべき。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 ・来年度、夜間の避難訓練を地域の方と行う。その為に計画と一緒に考えていく場を作る。</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩尚文	法人・事業所の特徴	①介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放し、霧島市地域のひろば事業への参加。②管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。霧島市まちかど介護相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。③毎朝の地域のゴミ拾い。④ライフサポートプランの導入。⑤霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。
事業所名	地域サポートセンターよいどこい	管理者	黒岩尚文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	3人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の名札着用に関しては、介助などでご利用者さまと接触する時に、怪我などの危険が考えられるので、玄関の目につく所に職員の写真と名前を一覧にして設置する。 ・職員の入れ替わりについて運営推進会議で、委員の方にはお知らせする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙では職員の顔写真を載せているが、事業所内には貼らなかった。 ・入職者は運営推進会議での報告はさせて頂いている。地域の方には機関紙を配る時にお知らせしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に検討しているし、評価も具体的である。地域と可能な限り接触を図ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの保護への取り組みを基本的なことから行っていく事で、日常の感覚を介護現場でも持ち続ける。(トイレ、脱衣場などへの入室の際はロックして、確認をする等)
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が考え動き、またご利用者同士が譲り合ったり、感謝を感じて言葉にできる空間は大切にしていきながら、危険に対してこれまで以上に気を付けていく。座る位置の工夫や家具の位置の調整などは引き続き行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソファを変えて歩くスペースを幾分広くした事で、譲り合いはありつつ通りやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝早くから、暑くても寒くても玄関が開いている。入りやすい環境ではある。玄関が開いているので、事業所の前の道を通る時に会話が聞こえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・交流スペースの開放は行っているが、広くは知られていない。機関紙を回覧板に差し込んで頂くをお願いすることと、機関紙にどなたでも何にでも使ってもらえる交流スペースをアピールする。 ・他施設との交流は行っている。機関紙などに掲載して、地域の方々に分かって頂く努力を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流スペースは地域の方が使ってくださっている会合がある。少しづつ浸透しているようだが、積極的にPRしてはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な情報を持っている民生委員さんなど地域の方に宣伝や連携を深めることが地域の方に知ってもらうことになる。何事もPRが必要。限られた人数のスタッフがPRするのは難しいと思う。 ・機関紙を配っていない人がいると知った。みんなが配れば、「あの 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など)

			人はよいどこいの人だ」と分かる。災害時にも一緒に活動できる。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に自事業のお願いすることで、事業所に足を運んでもらえる機会となる。些細なことと自分たちで決めつけずにまずはお願いをさせてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々と、お世話になった1年です。今後ともこの考えでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いが難しい。災害時が1番困る。助けるべき相手のことをみんなが分かっていないので助けが遅れる。情報を守ることは大事である。その守り方次第でいざという時に人を守れなくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もご利用者と地域の行事に参加させていただく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は事業所の催しの‘夕涼み会’の運営会議も運営推進会議のメンバーと共に行わせてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催は有難いです。 ・メンバーが広がればご意見がもらえる。 ・開催の日時については、働いていると平日の午前中は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災に関して、一緒に取り組ませて頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にマップなど意見は出ているが、取り掛かれない。要請があればすぐに行動していく準備はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内にいる人がサイレンに気づかないことが有りうる。 ・周りの方々に協力をもらうという方向で考える必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度、夜間の避難訓練を地域の方と行う。その為に計画を一緒に考えていく場を作る。